

## 保育者の新しいノート (1)

S. K. 生

### (1)

○新しいノートブックが必要になった。古いノートを訂正しなければならぬこと、新しく書き入れなければならぬことが、いろいろある。

○私達の幼稚園に「戦争」の一つの小さいかけらも残つてゐないでせうね。おはなしにも唱歌にも遊戯にも。子どもが心なく描く繪にもつい歌ふ歌にも。それから、又取り除き忘れた額にも置きものにも。

○たゞ軍國色を除き去るばかりでなく平和色、文化色がどれだけ充實してゐるか。それは看板だけでなく、ほんとうに中味でなければならぬ。保育教材にも、施設にも、備品にも、——それ以上にわたしたちの心に。

### (2)

○私達は、何んといつても疲れてゐる。すきんでゐないとも限らない。それを假りにも幼児に影響させないやうに、細心の注意が大切である。わたしたちの目にも口にも手にも足にも、うつるや、がさつや、とんがりやいらいらがまづつてはならぬ。また、幼児の心も粗野にさせないだけの身だしなみも氣をつければなるまい。戦敗國の教育者に最も大切なことは、落ちつきと、情愛と、氣品とである。

○氣の静な子どもたちだ。やさしく親切にしてやろう。何も知らない子どもたちだ。たのしく遊んでやろう。

### (3)

○この頃ほど、子どもの家庭状態のまぢまぢなことはあるまい。それをよく知らない、とんだ可愛そうな目を幼児たちにさせ。心なしのお話をして、幼児を羨しがらせ

たり、耻かしがらせたり、甚だしいのは泣き出させたりする淺はかな過失をしてはならぬ。

○また、うつかりした扱ひをして、親達を困らせたり、苦しめたりしてはならない。服装の問題や辨當の問題もそこにある。わけでも、辨當の問題は食生活のむづかしい今日、微細な心づかひを拂ふ必要がある。

○今日の生活問題は、貧富の問題ではなくて、社會問題であり、國家問題である。そこをよく理解し考慮して、現實を見落した、わからずやを戒心しなければならぬ。今日の幼稚園は新園幼稚園だ。新園では先生も苦しいが、保護者も苦しい。園の理想ばかり考へて園の現實を無視してはなるまい。これは幼稚園の經營の上でも大に考へなければならぬことだが、保育の實際の上でもこまかに考へなくてはならぬことである。

○と言つて、生活の現實面に対する仕方ほど、細密周到な注意を必要とすることはない。家庭の立場を理解し、個々的にその實狀に適應させてゆくためには相手の心もちを理解し、その人その人の感情に適應させてゆく眞の苦勞人の心がけが肝要である。

○思ひやりは、そつとしてこそ、眞の思ひやりだ。

○但し、思ひやりは、そつとしてこそ、眞の思ひやりだ。殊に家庭内部のことは、知つてゐながら知らぬ風に、知らぬ風にならぬ。よく行き届いてゆくのでなくてはならぬ。これからの幼稚園では、同じ生活程度の家が集るといふやうなことはなく、いろいろの家庭事情の子らがつしよにすることが多い。その時、私達のこまかい心づかひが必要になり假りにもあらはなことをしてはならぬ。